

取組の名称 「ありがとうカード」の取組

12月12日(月)～3月中

取組の概要 場所：帯広第四中学校中央階段

【ねらい】

「ありがとうカード」の作成を通して、互いのことを理解し、感謝の気持ちを大切に作る風土を醸成する。

【概要】

いじめ非行防止のキャンペーンの一環として、全校生徒で「ありがとうカード」を作成した。本校では同時期に第3学年への受験応援メッセージ、クリスマスの装飾も行ったため、カードのデザインを工夫し、廊下に掲示した。

【生徒の感想】

実際に行ってみて、全校生徒が日常のクラスメイトの動きに対して感謝の気持ちをもっていることが分かり、温かい気持ちになった。



【廊下に掲示したありがとうカード】



【カードを見ている生徒の様子】

成 果 多くの生徒が一つ一つのカードをじっくりと見て、他者の思いに触れていた。装飾の工夫を含め、友だちの考えに触れ、相互理解を促すとともに、感謝の気持ちを大切に作る心情を育むことができた。

取組の名称 生徒会主体の「いじめ根絶集会」の取組

12月23日(金)3校時

取組の概要 場所：帯広第五中学校

【ねらい】

「いじめ根絶集会」(放送)において、生徒がいじめに対し主体的に考えることを通して、いじめを絶対に許さない態度の育成を図る。

【概要】

生徒会執行部が中心となり、年3回、全校生徒による「いじめ根絶集会」を校内放送で実施した。学級の仲間のよい所を見付け、カードに記入し、廊下に掲示する「Best Favor 運動」を実施し、共有した。

【生徒の感想】

何気ない小さな一言が、人を傷つけたり、救ったりすることが分かった。何よりも相手の意思を感じ取る感性が大切であると再認識した。



【各学年の Best Favor】



【ツリー型の Best Favor】

成 果 「Best Favor 運動」を通し、毎日の学級活動の中で相手を思いやる気持ちが少しずつ多く見られるようになるなど、いじめをなくしていこうという思いの醸成が図られた。

取組の名称 生徒会主体の「いじめについて考える集会」の取組

1月13日（金）1校時

取組の概要 場所：帯広第七中学校体育館

【ねらい】

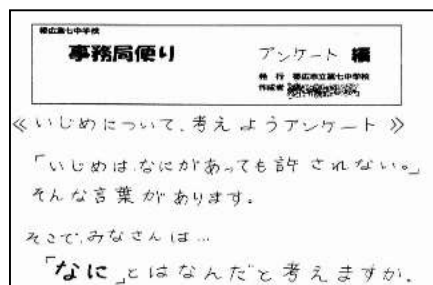
全校生徒にアンケートを行い、生徒がいじめに対して主体的に考えることを通して、いじめを絶対に許さない態度の育成を図る。

【概要】

生徒会書記局が中心となり、全校集会の中で、全校生徒に「いじめについて考えよう」アンケートを行った。最後に各学級の代表者が、各学級のアンケート結果を集会の場で発表した。

【生徒の感想】

一度でもいじめが起きてしまうと、連鎖が広がってしまい、多くの人が悲しい思いをしてしまうので、常にみんなで考えていきたい。



【活動に使用したアンケート】



【集会の様子】

成 果 アンケートでは、「どんな理由があっても、いじめることは決して許されない」などの記述があるなど、いじめ根絶に対する意識の高まりが見られ、いじめを生まない学校をつくっていかこうとする態度の醸成につながった。

取組の名称 心あたたまるメッセージ

12月16日（金）3校時 1月13日（金）3校時

取組の概要 場所：帯広第八中学校 各教室

【ねらい】

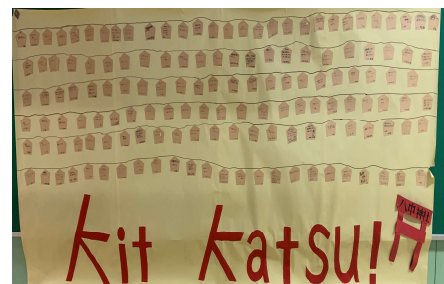
辛いとき、苦しいときに後押しがあることで、粘り強く挑戦しようとする気持ちや、仲間を応援するあたたかい心や態度を育てる。

【概要】

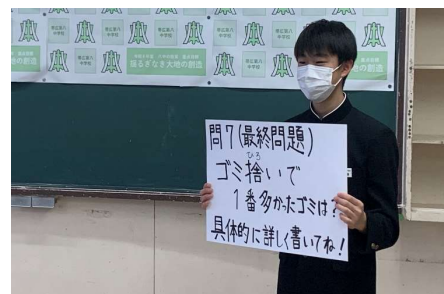
生徒会が中心となり、全校集会にて、「他者に心あたたまるメッセージを届ける」ことを目標に作成した、「あったかCM」を上映した。その一環として、受験勉強や面接練習に一生懸命に取り組んでいる第3学年に向けて、後輩からの応援メッセージを掲示した。

【生徒の感想】

応援メッセージを見て、後輩からの思いが伝わってきて頑張ろうと思えた。自分も心の温まる対応を誰にでもできるようにしたいと思った。



【応援メッセージ掲示の様子】



【「あったかCM」を紹介する様子】

成 果 掲示されている応援メッセージを沢山の第3学年が見ており、応援が力になっている様子が伺えた。また、メッセージを送る第1・2学年も真剣に取り組んでいる様子が伺え、他者を思いやるあたたかい心や態度の育成が図られたと感じた。

取組の名称 生徒会主体の「あいさつ運動」の取組

12月5日（月）～9日（金）

取組の概要 場所：南町中学校 教室・廊下等

【ねらい】

「あいさつ運動」を通して、いじめ根絶に対する意識を高め、よりよい人間関係の構築につなげる。

【概要】

生徒会執行部が中心となり、さまざまな場面で挨拶の実践や呼び掛けを行い、いつもお世話になっている家族・友人・先生・地域の方々に今まで以上に素敵な挨拶ができるようにした。

【生徒の感想】

居心地のよい学校生活にするために、普段の生活で明るい挨拶を意識してすることができた。また、学校内だけでなく、地域の人にも積極的に挨拶することで、関係を深めることができたと思う。



【授業開始時の挨拶の様子】



【生徒会執行部の打合せの様子】

成 果 「あいさつ運動」後も学級、学年の垣根を越えた挨拶が行われるなど、関係性を深め、積極的に声を掛け合う姿が見られた。また、居心地のよい環境づくりを推進しようとする態度の育成が図られた。

取組の名称 生徒会企画「ほめゲーム」

11月1日（火）6校時

取組の概要 場所：西陵中学校各教室

【ねらい】

互いのよいところを伝え合う活動を通して、全校生徒が自己肯定感・自己有用感を感じ、お互いに尊重し合っ
て他者を思いやる心の育成を図る。

【概要】

生徒会事務局が中心となり、Google Meetにより配信された内容に学級ごとに取り組む「ほめゲーム」を開催した。取組内容は事務局が指示し、「あなたの2つ右隣の人を30秒間褒めてください。」等、20問作成した。

最後に「学級担任が全員を褒める」とことと「その後にクラス全員が学級担任を褒める」という課題で終了した。

【生徒の感想】

みんな笑顔で活動していた。ポジティブな言葉がたくさん出て、みんなが楽しんでいた。またやりたいという声が多く聞かれた。



【「ほめゲーム」に取り組む様子】

成 果 自分では気付かない自分のよさを伝えられたことで、自信をもつことができた生徒が多く見られた。様々な角度から「褒める」、「褒められる」という活動を通して、自分の事だけでなく他者意識をもち、主体的に行動する意識の醸成が図られた。

取組の名称 生徒総会でのいじめ根絶の呼び掛け

10月28日（金）3校時

取組の概要 場所：緑園中学校

【ねらい】

全校生徒でいじめについて主体的に考えることを通して、いじめを絶対に許さない態度の育成と主体性を育む。

【概要】

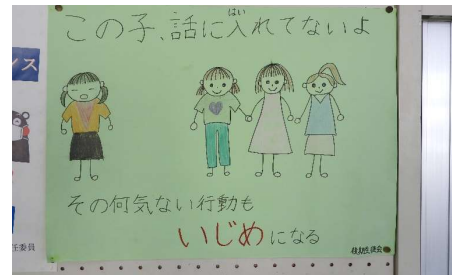
生徒会事務局及び生活委員会が中心となり、生徒総会にて、いじめ根絶について呼び掛け、全校生徒で意識していくことを確認した。さらに、いじめ根絶に向けたポスターを作成し、校舎内に掲示し、啓発を図った。

【生徒の感想】

久しぶりに全校生徒が集まることができたことが嬉しかった。改めて、いじめは絶対に許さないという強い思いを自分自身確認できた。



【生徒総会の様子】



【いじめ根絶を呼び掛けるポスター】

成 果 全校生徒が一堂に会する機会に、いじめに対する考えを確認することで、生徒にいじめは絶対に許さないという強いメッセージが浸透した。いじめ問題は身近なものであり、加害者・傍観者にならないことを考える機会になった。

取組の名称 生徒会主体の「いじめ撲滅集会」の取組

12月1日（木）6校時

取組の概要 場所：翔陽中学校体育館及び各教室

【ねらい】

「いじめ撲滅集会」において、生徒がいじめに対して主体的に考えることを通して、いじめを絶対に許さない態度の育成を図る。

【概要】

生徒会三役が中心となり、体育館と各教室をオンラインでつないだ「いじめ撲滅集会」を開催した。生徒会長からのメッセージを聞いた後、各自がいじめに対する思いをカードに書き、それを「みてあげよう あいてのここを」の文字に並べて貼り、生徒玄関に掲示した。

【生徒の感想】

いじめはいけないことだと思った。いじめのない楽しい翔陽中を生徒会が中心となってつくりたい。



【「いじめ撲滅集会」の様子】



【メッセージカードの掲示物】

成 果 カードには、「いじめはしない！させない！許さない！」、「いじめは人の命を奪うこと」、「どちらもなくそう加害者、被害者」などの記述があり、いじめ根絶に対する意識の高まりが見られた。

取組の名称 生徒会主体月初め「朝集会」の取組

毎月初め

取組の概要

場所：川西中学校体育館

【ねらい】

「朝集会」において、全校生徒で「川西体操」を行ったり、学年代表があいさつをしたりすることを通して、お互いを理解し、認め合う態度を育む。

【概要】

生徒会書記局を中心として、全校生徒が始業前の時間に体育館に集まり「川西体操」を行った。さらに各学年代表が今月の目標の発表等を行うことで、全校生徒の交流を深めるとともに、他学年の抱負を知り、学校全体のものとした。

【生徒の感想】

朝、川西体操をすることで、気持ちをリフレッシュすることができた。自分の学年だけでなく、他学年の目標を聞くことで、他学年の考えを知ることができた。



【朝集会活動の様子】



【川西体操活動の様子】

成 果

生徒会が主体的に集会を企画・運営し、和やかな雰囲気で行っていることで、お互いを認め合う集団作りにつながった。

取組の名称 全校集会での「いじめ根絶集会」の取組

12月5日（月）6校時

取組の概要

場所：清川中学校体育館

【ねらい】

全校集会の中でいじめ防止について生徒が考えることを通して、いじめを絶対に許さない態度の育成を図る。

【概要】

生徒会三役が中心となり、全校集会でいじめの事例を紹介した後、小グループで解決方法を話し合い、最後に生徒会の代表がいじめ根絶に向けてのメッセージを送った。

【生徒の感想】

全校集会でいじめ根絶に向けて話し合うことで、学級や学校だけではなく、普段の生活の中で起こり得るちょっとしたいじめについてもなくそうと思った。



【呼びかけをする様子】



【全校集会の様子】

成 果

実施後のアンケートでは、「いじめを見たら勇気を出して声を掛ける」、「先生に相談したいと思う」などの記述があった。いじめをなくすために自分ができることについての理解が深まった。

取組の名称 生徒会集会を通したいじめ根絶の取組

12月19日(月) 5校時

取組の概要 場所：八千代中学校フレンドホール

【ねらい】

生徒会が主体となって開催する集会を通して、生徒一人一人がいじめを自分ごととして捉え、いじめを絶対に許さない態度の育成を図る。

【概要】

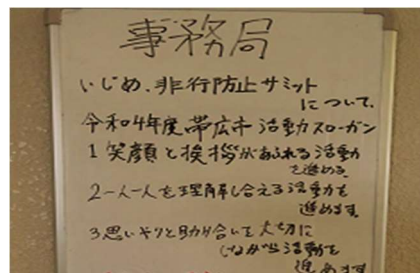
生徒会書記局が中心となり、「相手はどう捉えるか」、「相手はどんな感情をもつか」等の視点で、日常生活で、自分が使っている言葉や周囲への態度を見直した。それぞれの考えや見直したことについて、互いに交流した。

【生徒の感想】

「自分だったら」ではなく、相手の立場に立って、相手の視点や相手の感じ方を考えたり、思いやったりして、言葉を選ぶことが大切だと感じた。



【生徒会集会の様子】



【生徒会から全校生徒へのPR】

成 果 集会の後、相手の立場になって、言葉を選んで発言する生徒や、前向きな言葉掛けを行う生徒、建設的な意見を述べる生徒が多くなり、自分が用いる言葉や、いじめを生まない関係づくりに対する意識の高まりが見られた。

取組の名称 「いじめ防止集会」の取組

12月16日(金) 5校時

取組の概要 場所：大空学園義務教育学校第5～9学年各教室

【ねらい】

いじめ防止集会を通して、普段の自分を省みながら、いじめを絶対に許さない態度の育成を図る。

【概要】

いじめ根絶 YouTube 動画を視聴し、「あなたはいじめをとめる勇気がありますか?」というテーマで各班で意見を出し合った。その後、学級として意見をまとめ、Google Meet で各学級をつなぎ、順番に発表を行った。

【生徒の感想】

いじめは一人では止められない気がする。しかし、いじめを止めないと一生傷ついてしまうから、止めないといけないと思った。



【各学級の発表の様子】



【話し合い活動の様子】

成 果 いじめをなくすには、教師や友だち、保護者など、周りの助けが必要であることを確認するとともに、普段の自分の言動について省みるきっかけになった。また、いじめのない学校づくりのために何ができるのかを考ようとする態度が育まれた。